

Fiveleafsclover3+



目次

最新 更新情報 らしい	
2022.6.24 夏至から三日	2
やはり そっけない更新情報	
2022.6.17 升田アナを悼む	4
2022.6.9 ゴールデンオーバーショート	4
2022.6.3 「オレはバターウルフの一匹狼だ」 聖子様万歳のセリフ	4
2022.5.27 飯伏	5
2022.5.20 の更新情報	5
2022.5.13 フライング・ライオン・マン	6
2022.5.6 お休み状態	6
2022 年の令和の日 愛の無い映画の見方	7
2022.4.22 日付は 22 日だけど一日前倒し	7
2022.4.15 「デス似顔絵認定」	7
2022.4.8 我孫子先生が亡くなられた	8
宣伝し広告し、やっと売れる	
.	10
読み物	
F	16
eBOOK Promotion	
.	22
いろいろと工事中 つまり いろ工	
「カーネーション」	26
コラム的 祟りか デスブログか 呪いか	28
アニメレビュー アンとヴァイオレット の 習作展示	31
コマーシャルメッセージ (CM)	
.	36
あり思 第四巻のエピソードが載っ...	
02-08	40

02-09	40
02-10	41
02-11	42
03-03	43
03-07	44

最新 更新情報 らしい

2022.6.24 夏至から三日

「YoUNG LION 9」

「プロモーションブック 炎之六号」

「プロモーションブック 補欠陸号」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2022」

「レイズ・ア・サイドブック 3」

「YoUNG LION 8」

を更新。

やはり そっけない更新情報

2022.6.17 升田アナを悼む

「fiveleafsclover2」

「プロモーションブック 炎之六号」

「プロモーションブック 補欠陸号」

「勃発！ 五島いしかわ紛争」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2022」

「YoUNG LION 9」

を更新。

2022.6.9 ゴールデンオーバーショート

何を更新したか、忘れました。

2022.6.3 「オレはバターウルフの一匹狼だ」 聖子様万歳
のセリフ

「レイズ・ア・サイドブック 3」
「YoUNG LION Q」
「プロモーションブック 炎之六号」
「ヘッジホッグダイアリーズ 2022」

2022.5.27 飯伏

「ぼくの事はいいから、飯伏を応援してあげて下さい」
誤入金した話題よりも、飯伏の話題を取り上げてほしい。
後はDDTに出戻るか、オールエリートレスリングに参戦するのか、ちょっとサイバーファイト系は難しいだろうから、AEW でまたケニーオメガとタッグを組んでほしいと、身勝手に思っている。

「ヤングライオンQ」
「プロモーションブック 炎之六号」
「ヘッジホッグダイアリーズ 2022」
を更新。

2022.5.20 の更新情報

アニメレビュー「アン・シャーリーの赤 ヴァイオレット・エヴァーガーデンの董」
「YoUNG LION 8」
「YoUNG LION 8.1」
「レイズ・ア・サイドブック 3」
「プロモーションブック 炎之六号」

を更新。

先週、量が多かったせいか、うっかり「YoUNG LION Q」が更新されておらず、抜け落ちていたようだ。今回はちゃんとできた。

2022.5.13 フライング・ライオン・マン

「Fiveleafsclover2」
「YoUNG LION 8.1」
「YoUNG LION Q」
「プロモーションブック 炎之六号」
「ヘッジホッグダイアリーズ 2022」
「勃発！ 五島いしかわ紛争」
「レイズ・ア・サイドブック 3」
を更新されているはず。

2022.5.6 お休み状態

有料本に備えて、
「プロモーションブック IV号戦車」
「プロモーションブック 悲しみロボットV号」
を更新。

休み、休み。

休まない、ネームが間に合わない、完成しない。

2022 年の令和の日 愛の無い映画の見方

「YoUNG LION 8.1」

「YoUNG LION Q」

「プロモーションブック 炎之六号」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2022」

2022.4.22 日付は 22 日だけど一日前倒し

「プロモーションブック 炎之六号」

「レイズ・ア・サイドブック 3」

「YoUNG LION 8.1」

アニメレビューの「アンの「赤」VEの「葦」『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』

「ヘッジホッグダイアリーズ 2022」

を更新。小さい文字指定の情報は無し。

2022.4.15 「デス似顔絵認定」

サンタナの四コマを描いて、スキャンしたぐらいで、当のサンタナが故障してしまっ

た。一応、締め切りに設定している、今月の祥月命日に遅れそうなので、少ない更新。

「プロモーションブック 炎之六号」

「針鼠日記 2022」

を更新。

2022.4.8 我孫子先生が亡くなりました

不本意ながら、「Fiveleafsclover3+」をアップ。

「針鼠日記 2022」

「YoUNG LION Q」

「勃発！ 五島いしかわ紛争」

「レイズ・ア・サイドブック 2」

「プロモーションブック 炎之六号」

を更新。

宣伝し広告し、やっと売れる

U2 UからsakUへ

須藤がバックハンドブローで栄光を掴んだように、ローリングソバットでセオリーを蹴っ飛ばせ！

アマゾンキンドルで配信

shiKOUCOKU008.jpg



shinSENDEN021.jpg

ちがうよ

テレビを面白くするのは
きたろうだ



これは「くそ4コマ漫画」の告知であり
ジャロに報告はご勘弁
ジャロ……ジャロ・ジャスラック!

shiKOUUCOKU021.jpg

これはもはや-G-
ではない
非公式なガンダム本

安定しない価格変動制
シークレットの章に
記事が一つ足される
度に+10円

アマゾン キンドル で発売中
抄録版は「Gの煌めき」

shinSENDEN031.jpg

読み物

F

このFはもしかしたら、ファイトのF、ではなくフェイクのFかもしれない。何よりも、フェイクバスターでありたい。

〈 中略 〉

気をとりなおして、逆行弾を撃たれたように、『2000年の桜庭和志』『1984年のUWF F』を遡って、『木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか』である。『木村』を原作にしたマンガの『KIMURA』も読み、ついでに『VTJ前夜の中井祐樹』を読んだり、『七帝柔道記』を読んでいたりする。

高専柔道である。

その説明はあえてしない。わからなかったら、一丸さんのマンガもあるので、直接読んでもらいたい。内容の説明を少しだけすると、柔道部の話だが、大森望さんが解説で言っているように、ぜんぜん勝てない。青春を犠牲にして、こんな事ばかりしていいのか？ という疑問がもたげる者はすぐに辞める。

〈 中略 〉

事情を知る人には、二度も三度も同じ事を読むことになるが、中井さんにまず、例の巖流島対決で木村政彦は力道山に勝つだろうと、水を向けると「勝ちます」と後輩に言われたから、本物の格闘家から「信」を得たのだから、それは勝つだろうなど、連載を書き始める。

中井さんとは、もちろん中井祐樹さんの事で、いちいち何度も同じ情報を読むハメになると思うが、増田さんの後輩で弱小だった北海道大学柔道部を優勝に導いた立役者である。(ただの柔道の大会ではなく七帝大会)

あれだけ勝てなかった『七帝柔道記』の頃に比べて、優勝を狙えるほどになり、まだ作者が書いていないので、気がひけるので、言葉を濁すが、「そして、犠牲もあった。」という事である。(物語の中で「彼ら」は生き続ける)

その後、中井さんは佐山サトルの修斗に参加し、そして、伝説のバーリトゥードジャパンに出場する。『VTJ前夜』のVTJとは、もちろんこのVALE TUDE JAPANの事である。柔道部OBの先輩たちが、武道館に応援にかけつけた裏話が『VTJ前夜』なのである。『2000年の桜庭和志』の書評ではないので情報流出を避けるが、具体的には『VTJ前夜』を読んでもらいたい。『2000年』はいくらでも情報流出していい。

しかし、後に中華料理屋で中井さんが「すみません。やっぱり勝てません」と、ひっくり返してしまい、そこから編集長に「すみません書けません」と、バトルビーみたいになってしまう。まるで清水義範の「深夜の弁明」や中原昌也の小説である。

運命の中華料理屋。

〈 中略 〉

猪瀬直樹が生前の木村政彦本人に取材で訊いた話を掘り起こし、連載を持っていた「週刊文春」の一回分にあてたのを、運悪くというか、運命のいたずらか、増田さんが読んでしまう。

血なまぐさい臭いがする。

運命の週刊文春。

枯れない殺意。

そして木村の例の謎発言、自分の額に「殺」と念を込めて、その念を力道山へ送った。それで力道山が死んだと、言い張る。

マンガでは原田久仁信の作画で、

「先生、念では人を殺せないですよ」

と、猪瀬が泣いている、いい顔を描いている。後の東京都知事が泣いている。維新の会で出馬するのは、正しいのか？ 教会の関与は無いのか？

そんな『デトロイド・メタル・シティ』のクラウザーさんみたいな記事を読んだしまった増田俊也が「週刊文春」に電凸して、ガチャ切りするという「オレも同じ気持ちだ」と、感情移入しかない。

ここで、猪瀬の格闘技好きの一端がうかがえる例として、いしかわじゅん先生の『秘密の手帳』にて、プロレス観戦をしている猪瀬の目撃談（野次ってる）があるが、信用度が低くなった今、使えないのである。（『秘密の手帳』は文庫本になっており『業界の濃い人』があるが「アマゾンに騙された（いしかわじゅん・談）」と思って読んで下さい）

藤野千代さんの『編集ども！ 集まれ』で声高ではない反論はある。私が言えるのは、実在するトランスジェンダーの人をいじるというのは、よくない。オリンピック憲章に違反する。

オリンピックの仕事を引き受ける気は無いので、私も白状すれば、皆川ゆかさんは女装家であるのは、触れたことがある。

『1984年のUWF』のあとがきで執筆協力者に名が挙がっているように、どうやらUWFの旗揚げ戦か何かを観戦した件を柳澤さんに話しているらしい、というこんな憶測ぐらいしかできない。

「勃発！ 五島いしかわ紛争」を経た今なら、吾妻ひでおは本気だった、と思う。ガチでドクター石川を殺しにかかっていたと。

あくまで個人の感想に過ぎないが、『チョコレートトリボルバー』で流れ弾に中るのは、「突発的な事故にでも遭って死んでくれねえかな」と、木村が念を込めるように「吾妻も念を込めた弾丸でドクター石川を撃ちぬいているのだ」と、見立てたくなる。

私個人も、いたずら描きのようなマンガで、実在の人物の似顔絵をタイガー・ジェット・シンのもっているようなサーベルで刺すのは、心の中にわずかなりにも刺したいと思わないと、描けない。

日本では内心の自由が許されているから、いいけれど、別の国ではそうはいかない。特に独裁者への犯意があったら、裁判も無く罪になる。あるいは罪に陥れるために開かれた形式だけの裁判。

しかし、木村のように懐に陛下から下賜された短刀を忍ばせて、力道山をつけ狙っていたとも思えるような扉絵やマンガ内での作画を見るにつけ、木村も力道山を誅殺したかった、犯意の内でも重い「殺意」、それが最晩年であっても捨てられないのが、なんとなくわかる。それを猪瀬は枯れない殺意と

〈 中略 〉

ややこしいのが、柳澤健さん自体が、複数のゴーストライターを抱えているというか、唐沢俊一方式と言うか、そういうのも、うっすら感じている。裏取りするまではやらない。週刊文春が協力するというなら、取材してもいい。

これは佐村河内守を告発した神山典士（注『ライオンの夢』の作者）も自身がゴーストライターをしていると表明しているように、そんなにタブーというわけではないのだ。

ゴーストライターしている本人が「知って」いればいいが、孫ゴーストライター、孫ゴーストライターがいろいろ調べて、それで私に突き当たって、「上」に報告しないでいると、事故が起こる。

ハインリッヒの法則ではないが、機会が多ければ多いほど、長期に渡れば渡るほど、発見される

いつか起こるべくして、起こる事だったのである。

悪徳政治家の然るべき末路の如く。

ワクチンの限りなく低い確率の副反応が出てしまったように、たまたまの偶然、お鉢が回ってきたのが、いつもの如く私だったのである。

『沢村忠に真空を飛ばせた男』も、F、野口修にその件を直接訊いても、はぐらかして答えてはくれない。それは当たり前だけど、いくつも傍証はある。作者は海外のムエタイの元王者にも接触している。無論沢村と戦った「先生」である。つまり、仮に取材したとしても、こうして傍証しか得られない。

確証は得られないと、やる前からわかっている。

あのキャプションを読んで、気づけないなら、それはそこまでの人間である。

だから、木村政彦は力道山に勝てなかった派と同じく、私は寺田ヒロオはやらされた派である。

言いたくないのだが、逆になんでも、取材すればいいってわけじゃない。たとえば「あなたのお兄さんは血の繋がっていない、義理のお義兄さんではありませんか？」と、取材対象者に平気で聞ける人間には、私が何を言いたいのかはわからない。おそらく文章も読めない。戦中の混乱期を想像できない人もいると思う。（偶然だが作家の角野栄子が戦中似たような境遇にあったと知る）

ただ、プロレスの負け役のように、自分がやりたくない事を代わりにしているから「チケット代を払う」価値として、値段に釣り合うかはともかく、お代を頂くエクスキューズはなりたつ。それを言われると、こちらも苦しい。だから当然「忸怩たる思いがある」と、皆さん（消費者）が望まれている残酷ショーを見せられない事に自分でも悔しい思いがある。

木村が力道山に勝てないように。

ただ、中野晴行さんには「怖いもの見たさ」を求める読者の期待に応えられるように、絶対に取材してほしい。野口修の実子である娘は、取材を頑なに拒んだ。純粋に取材拒

否である。穿った見方をすれば、決定的な何かを話さざるをえない

eBOOK Promotion

少年漫画家よ 若葉の下にて 永遠に眠れ

アマゾン パーパーにて配信

マンガレビュースペシャル
兄になりたかった人
持論の寺田ヒロオ評



coucoku29.jpg

川原泉教授の
短編「パセリを摘みに」



文庫のどこかに収録されているはずですから

文庫すべて買って確かめて下さい

アマゾン・キンドルで白泉社文庫であるだろうから

銀の宣伝 09.jpg



「大人になったらジブリを卒業しなさい」
アマゾンさんのキンドルにて 発売中だペン

shiKOUUCOKU037.jpg

いろいろと工事中 つまり いろ工

「カーネーション」

不思議な歌詞、
歌詞カードを見ればフレーズで改行している事はしているが、
センテンスが
タイトル通りの
母の日に送る花であるカーネーション、
その象徴である
母のことを歌っている。と、思う。
母親が母とは何かを歌っている。

栗山千秋がパンパンになるという、一部の人には性的な興奮を得る事しきり
五社『肉体の門』
テレビドラマのタイトル名は禁則事項で「」内にするが、曲との混同を避けるため、『カー
ネーション』とする。
そのドラマ、『カーネーション』の内容はコシノ（小篠）三姉妹の母、綾子さんをモデ
ルにした主人公、糸子が戦前戦後の激動の時代を駆けぬけた物語である。
ドラマの筋を知る人には、王位篡奪の物語で簡単に説明すると、呉服店を営んでいた父
から経営権を取る父殺しの物語、太平洋戦争がからみ
父や母、つまり視聴率動向を左右する巨大な母数を意識してか、
おじいちゃんおばあちゃんを裏切らない
後継者がいない家業なら、自分がやる
古い家庭観、家族感を宗教団体のように捨てられない。
朝ドラの主人公は欺瞞だと言われていた。
欺瞞の無い主人公がほぼ初めて出たのが『カーネーション』であり、

歌詞だけを読めば、
生まれたばかりの赤ちゃんを風がある外で抱く、母親の「人生の決意」を歌っている
ようである。そうした、想像をさせる。
未婚の母を連想するのは、ちょっと違うと思うが、そういう解釈もありえる。
ともかく、母親の主観として、語られた歌詞なのは間違いない。
名曲である。

歌声を抜いたインストゥルメンタルも聴かせる
純粋にメロディが良いのである。

昔、「カーネーション」は名曲であると、日記に書いた事がある。林檎さんが本当に“ほしいもの”、その答えは、場末のスナックなんじゃないか？ という「笑い」にオトしてはいるが、厳しい現実、切実な問題に直面

iTunesの配信でCDが売れなくなって、音楽業界のビジネスモデルが崩れて、儲けられなくなってしまった後、メイン収入はライブ活動のチケット売り上げと物販。レコードの時代からあった円盤ビジネスが成り立たなくなった。その波は当事者でなければ、苦労は想像できるが

それならいっそ、スナックで歌うママになった方がいいんじゃないか、音楽番組でちょっと本人がそういう話を冗談半分に言っていたのである。

母は母でも、そのママなのか、という笑い話だけど、身につまされる。(現在、音楽のサブスクリプションの時代だとまた違う)

“・・・生きよう・・・”も『金閣寺』のうしろ読み以来、である。

たったひとつの願い、求めるものは、子供のために生きようという、ちょっと倒置があるだけで、ごく単純な解釈になるはずだ。

育ち切る前の存在を見ているから、子供の側から、母親を見ている、やがてカーネーションを送るために、生きようと誓う見立ては、無理がある。デュエットソング的、パートで立場が分かれているわけでもない。

椎名林檎版「おふくろさん」と言えるかもしれない。作詞作曲歌唱のシンガーソングライタータイプはもちろん、自分が作詞して、自分が歌う。「なんだ、当たり前なことじゃないか」と思われるが、森と川内先生の解釈違いが生まれれないという、プロブレムが発生しない、安全性が危機管理されている。

著作人格権が侵害されない。

この意味でも、「おふくろさん」のアンサーソング、人生の山あり谷ありを屋外の気象になぞらえている歌詞、母の側から歌っている「おふくろさん」であろう。“遙か空への空とは「おふくろさん」の空ことではないのか？

生まれてきた赤ちゃんにとって、大人になったら、確実にカーネーションを送る存在が、

林檎さんにとって、自分が作った歌とは、自分の子供のような存在。
“今”という語句が三回も出て来る。現在系だけど、限りなく未来予想される“生きよう”という

「おふくろさん」になる、なりえる人の目を通して、歌われる。そこにカーネーションの花が咲く

確実に生きていく

そこは『カーネーション』とテーマが一致する
王権を手に入れた朝ドラの主人公が英国女王
エリザベス一世の母系家族
曲の文劇一致

歌は誰のものか？

林檎さんのスナックのママにでもなりたいをそのまま歌ったら商業的な曲にも、タイアップにもならない。

そこは「さらば青春の光」ではないが“フリ”をして、

マザーコンプレックスの複合感情（観念複合体）を抜いて、
純化された母への思慕をもてる存在のフリをする
フィクションの中でしか成立しない

もしかしたら、パンパンのようになって、売春をして

*執筆中 画像を挿入すると、ダウンロード用データ（正確にはPDF と ePub ファイルの事）が保存されないトラブルが起きるので、画像を挿入できない。

ダウンロード用データファイルが保存されないと、ブラウザでの閲覧でも更新した情報が読めないなので、執筆中である。

コラム的 祟りか デスブログか 呪いか

ギャグで17連勝と、コラージュしたら、ニシーズンをかけての18連勝を山本くんができなかった。

コラージュ通りになってしまった。

サンタナが、その、言いにくい事に、映画『ミナリ』を観たことがある人は、おちんちんブローケンである。4コママンガをスキャンしたあたりで、登録抹消。

奥川くんも、おちんちんブローケンである。おねしょしちゃったのだろうか。

下半身のコンディションが悪いと言っているだけだが、怪我の内容が診断待ちだったり、深い怪我で長期に離脱するとなると、いろいろと対戦チームの戦略が変わってくる（予告先発やローテ変更がある）ので、一応情報をマスクしている。スーパーストロングマシンではない。

オレンジのTシャツが一枚しか用意できなかったらしい。

マシン軍団の代わりじゃないが、飯伏の、その、「但しイケメンは飯伏に限る」は、別に、ああいう件か
増山さんが死んだり、安倍さんの似顔絵を描いたら、暗殺されちゃったり、人は必ず寿命で死ぬが、あれはデス似顔絵認定。

頓宮くんの似顔絵を描いたら、四番打者になったから、これで巨人入りも濃厚になっただろう。打てる捕手がほしいから。オリックスバファローズがどうなったかは、そこはデスブログではないんだけど、杉本くんや吉田くんがどうなったかは、交流戦後の成績を見てほしい。絶不調やケガをしたのは、忘れてほしい。どこかの別のチームが完全試合されたとか、偶然の一致。（ノーヒットノーランの誤り）

巨人に行きたくないなら、代理人を付ければいい。

秋山将悟を取りに行かなかったのは、代理人を付けてそもそも交渉しない
山口君は本人にダイレクトに連絡できるのだろう
代理人さえ外せば

こうして次々と野球選手たちが故障したり、何かあるのは偶然である。

サテルが Number の表紙を飾ったら、2021 年のシーズンに、日ハムの西浦くんみたいに前半戦と後半戦の成績が違い過ぎるのは Number の呪いだけど、

氷上の陰陽師も冬季北京五輪で穴ぼこにはまる。悪エワ、アヌシュミみたいに、お尻に挟んだチューベットから、あらかじめしておいた小便をドーピング検査に出せばよかったのに。（競技中お尻のあたりがもっこりしていて美形点が稼げる）

ポッキンアイス

○にAだけど、我孫子先生が亡くなった。藤子不二雄Aの方である。最晩年はしょこたん（私の夢の中の三人の嫁の一人）と仲良くなれて、よかった。その前から、宮沢りえちゃんと仲良くなり、ことあるごとに、「りえちゃん、りえちゃん」と推していた。

張り合いの合った人生で、良かったと思われる。遡れば、岩田社長の似顔絵を描いたら、何かあったかは無視して、八十歳以上の人で何かつけ触れても大丈夫なのは、御大筒井康隆だけである。

どれだけ、書いたかは把握してないけれど、何度も「シェイクスピアロマンでプロスペローをしてほしい、「サイレントエフェクトでワランのおじいちゃんをしてほしい、と書いても安泰で、SF作家の面目躍如である。

たいして、小松左京は「お祓いた方がいい」と、ちょっとオカルティックな作品をマンガに描いたとり・みきさんに助言していた。そういう物品にも興味を持って、好奇心旺盛だから、名作を書ける。

ピラニア軍団の人(志賀勝)を似顔絵に描いたら、しばらくして亡くなった事があった。
これは偶然である。

似顔絵を十枚描いたら、機会十だから、その一つが当たる(中る)である。

量が多くなると、まぐれ当たりが増える。百万分の一と百万分の二は、そんな変わらないが、相対差は確率二倍だから。数理を理解できない、

有名人か、メディアに登場する人、メジャーマイナー問わない一万人ほどの内、十人で一万分の一が1000分の一に跳ね上がる。

仮に「不幸判定」が一月に一回だと、年に1000分の12。ブログ的なものや、何か発信したら、一回ぐらい中る。

『野球人の錯覚』を気づかない人、と言えいいか、幸せ、おめでたい人である。

昔、自分が仕事での要で回った箇所に、お葬式が出されている事があったが、高齢化社会だから、ある広範囲の地域に出かけて行ったら、だいたいお葬式を出しているお宅は一つや二つある。

それを縁起が悪いと、決めつけるのは、高齢化社会の実態を知らない、繰り返すが数理が理解できない、フェルミ推論的にモノを考えない、考えなくてもよかった、幸せ、おめでたい人である。(給料が少なくて子供の学費を払えないとかあるけどね)

そういうモノコト体験を消費しているから。ほとんどのモノコト体験が、その思い込みをパッケージにして、

『野球人の錯覚』で代表制バイアス、保有効果バイアス

『ドカベン』で代わったところに打球が飛ぶ、そのまま漫画に描いている。データコロシウムで調べると、その打者の打球の分布でしかない。たまにテレビで偶然にそのシーンに出くわして、印象に残っているだけ。

草野球でも同じ。

基本的に、誰か人名を言ったり、何かしたりしても、本人さまが故障したり、メダルが取れなかったら、偶然である。増山さんのことに触れたら、増山さんがデスブログで亡くなったわけじゃない偶然である。柳生博の話題というか、「ドラキュラが狙ってる」のバカ企画で「美女と柳生」で、柳生博をわざわざ呼んで、偶然である。

と学会が何か崇り潰しのネタを、出して

「呪い」なんてねえよ、

『理系が恋をしたので証明してみた』で何か、バスターしてほしい

井上という姓名かはともかく、こうせいと言ったか、お嫁さ〜んが会場にかけつけて応援すると、メダル確実の選手がなぜか敗退する。

ブログで何か商品やとある物件を書き込むと、事件というか、食べ物に異物混入的な事があったような、なかったような、そこまでは知らない。

しかし、医療科学が発達した現在も、アマビエにご利益を願う、人々がいる。

そういう信心を忘れてはいけないというより、ないがしろにしたらいけないという、

尤もらしい結論をせざるをえない。

追加して書く事

上島竜兵のことに、触れなくてよかった。有吉君と上島さん
升田アナの事を思うと、企画、妄想大河（江川太郎左衛門ではない）で主人公とBLするズッ友として、活躍してくれると、思ったのに。

企画倒れ。

逆に山本くんがノーノーを達成して「そこはちょっとデスブログだという事に、気を使ってくれないかな」と、思わない。

宙明先生の話、しなくてよかったあ

アニメレビュー アンとヴァイオレット の 習作展示

☆ 少し、構成を変えるので、構成変更前の習作を載せてみる。

アンのお話を我々は何で知ろう？

原作のモンゴメリの小説で、ドラマや映画で、それともアニメで。

いがらしゆみこのマンガもある。

近年は翻訳家の村岡花子を含めたテレビドラマ「花子とアン」もある。

今は『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』で知る。

結論を先に言えば、リラとジムスを性別反転させたモノだろう。

微速度撮影で抜かれた世界、ランプ・ガス灯の照明をデジタル撮影で一コマずつ調整する。世界名作劇場のスーパーウルトラアップグレード映像、京アニ別作品の『リズと青い鳥』の動物たちの芝居は『ロッキーチャック』を彷彿させながら、京アニクオリティーと言われるのも、頷ける仕上がりになっている。

そうして綴られるのは、第一次世界大戦期の戦争期を経て、その後のベルエポックを思い起こさせる時代背景。

モンゴメリも体験したWW1なのだろう。

つまり、『アン』シリーズの後期と同じ年代である。

おしゃべりな有機質系から、寡黙な無機質系の反転形質がなされた、ヴァイオレットはアンと同じく、みなし子である。

少女小説の多くは、孤児を主人公にして、斎藤美奈子の『少女小説は挑発する』では、孤児が出てくる事よりも親の不在に注目し、要約すれば「親がいると登場人物に（ドラマを生む）自由な行動をさせられない」とされる。

田中芳樹が『アップフェルランド物語』のあとがきにて、自作にある孤児の主人公が多い点を読者のお便りで指摘されている事を明かしている。素朴で率直に訊いているのを「あれあれ？」とリアクションして、古今東西の孤児が主人公の物語を羅列して、その流れの中にある「話の定型をなぞっているに過ぎない」と語っている。これは誠実な返答だろう。

斎藤の批評を組み合わせれば、アルスラーンが父王の権力圏から離れた時、為政者の才が開花しフロイト学派の考えである兄弟同盟達が立ち上がる。

私は単純化していて家族再生の物語。失った家族を取り戻す動機を設定として作っている。

あるいは田中も児童文学の評論に何かあるはずと示唆しており、その線を探ると、確かにシルヴァスタインの『ぼくを探しに』は孤児の物語として、解釈できる。そして、イヤな言葉である欠損家族の象徴であると、読めなくもない。

ヴァイオレットの話に戻れば、欠損した両腕である。

欠損した腕の「穴」は埋まっている。

必然的にヴァイオレットの「ビッグオー」を探す話になる。

その過程で兄弟の同盟の代わりに、姉妹同盟を築く物語となる。

その疑似家族・拡大家族もあるが、アンの物語の場合、その発行順序の第一にしてファースト・ストーリー「グリーンゲイブルズのアン」ではマシュウの死で終局する。

これをどう解釈するかは、もちろん人それぞれだが、亡くなった事で家族であると、確認して終わる。血のつながりが無い、ある種の聖家族が成立（聖立）していた。

モンゴメリはプロテスタント系長老派であるが、死後になされるパチカン市国の福者認定（列福）を物語内でマシュウにしていたのだ。

アメシストの宝石があるように、エメラルドがある。「この人物はマシュウとマリラではないか？」と思われる二人がいる。

『赤毛のアン』には、様々な色がある。アヴォリーにあるグリーンゲイブルズとは青い屋根（三角破風）の家、ダイアナの黒髪、それに憧れて毛染めに失敗したアンの緑髪。

地名にも架空地のホワイトサンズ。同じ白にただの並木道を歓喜の白い道と名付けたモノもあるが、やはりマシュウを送るスコッチ・ローズの色がある。作者のルーツのスコットランドの花を供えている。私の「マシュウの聖別」説はあながち妄言ではないと、これでうけとってもらえよう。

アニメ『赤毛のアン』では映像化されていない部分がある。

『アンと愛情』にて、ボーリングブルックにあるアンとフィリパの生家にアンとアンが訪れる。そこで現在の住人が、両親の手紙をアンに渡す。

越してきた時から、ずっととっておいたのだ。

押し入れの中に入っていた。

遠い地に出嫁ぎに行ったのか、アンと父に出先で届くように送ったものだ。もちろん、赤ん坊だった頃のアンについても、触れられている。

パラリアリズムの小説なら、「あなたは今、その手紙に書かれている『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』のアニメレビューを読んでいる」と、書かれているが、只のアニメレビューに過ぎない。

『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』は別の宇宙

ヴァイオレットが代筆した母からの手紙を受け取る子の名前は、アン・マグノリア。ホワイトサンズ、スコッチ・ローズと同じ白い花を咲かせる木蓮。

私たちは彼女の運命を少女小説の主人公のように知っている。両側に白木蓮が咲き誇る、歓喜の白い道に至る事を。

映像化されていなかった部分が、やっと『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』でアニメ化されたのだ。

ずっとしまわれていた原作がアニメーションとなったのを観ている。これこそパラリアリズムである。

再び、私たちはアン・シャーリーと出会ったのである。

★ 「緑の切妻屋根（三角破風）の家」としたのは、破風は屋根の側面の板の事で、両論併記的に、切妻と三角破風、どちらも載せる事にした。再建した観光用グリーン・ゲイブルズの写真を見ると、薄い緑で黄緑にやや近い。確かにグリーンなので「緑」を碧山（四股名）みたいに「青い」にしていたが、緑に統一。（古風な表現であるが「青い」も別に間違いじゃない）

また、一歩、完成に近づいた。

☆ 「異世界とはかつて世界名作劇場だった」で『無職転生』の無人島に漂流する妄想は、『ロビンソン・クルーソー』や『十五少年漂流記』が川上にあるということだけ。触れないでおこう。

最近の「ククルス・ドアンと島」は、典拠通りの作品で、リングンの「ククルス・ドアンと島」が辻褄合わない、タイガが自生している植生が、カナリア諸島？ スレックガー？ なにこれ、サンライズからネタ潰し？！

コマーシャルメッセージ (CM)



**片渕監督は
新作を用意しているから
劇場公開の時のために**

**チケット予算を
今からこちらも用意しておこう
家計簿に チケット代を**

ニコニコ動画でなんかあるらしいからそちらも観よう

銀の宣伝 04.jpg



おい！
こんな処に
春日太一の
『時代劇
聖地巡礼』
があるぞ

春日太一
時代劇
聖地巡礼

これで全年齢対象の場でも大丈夫

わざわざ
書影の画像を
貼り付ける事
ないだろ！

記録員 →

マスターアップしました
の写真を撮らせてください

shinSENDEN045.jpg

文読の献本が届いていなかったことで
柳澤さんにどうやらゴーストライター
させていたことがバレる



文章読本

アマゾンさんのキンボールくんが発売中
そのうちペーパーバック版も販売するかもね
計量分析して だけちゃんか 代筆してないか 調べてあげよう

うっかり忘れていたけど読み返したら
『桜田です』の掲載許可を取って
1コマは1段落にあたる ということをやろう

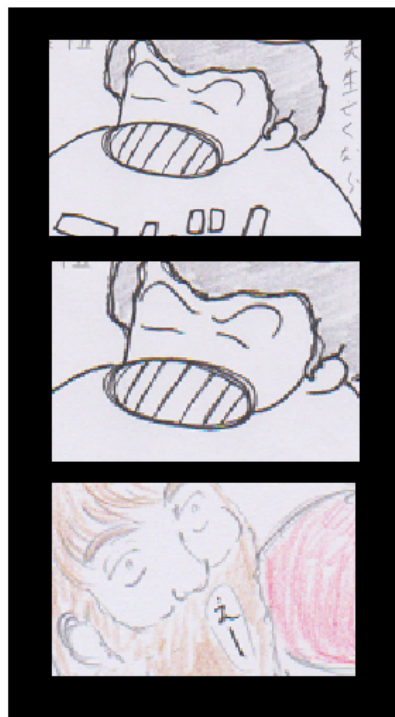
結局 三島由紀夫を登場させた自作四コマで代用した
文芸批評の引用ではなく 翻案に近いから
ちゃんと許可をとらないといけない

「どうせ、掲載許可は下りない。まず、返信もないだろう」と。
一年以上執筆して無駄な手間をかけたくないし。

いしかわじゅんの広告 09.jpg

あり思 第四巻のエピソードが載っ...

02-08



sheRoma58.jpg

02-09



黒いコマを被せたので
スカートが見えなくな
ってしまった
クリノリンに朱竹を
くっつけている
たぶん丸はその留め
具

sheRoma69.jpg

02-10



sheRoma76.jpg

02-11



このミステリアスパートナーみたいな
枢機卿たちはアトリビュートで誰か
わかるようにした

テニスボールはウルジ賢明卿こと
“投げる不動産”のモノに何故か

sheRoma84.jpg

03-03

ゴトチヒが
ブヒ部のコーナー
をパクっている と
ねつもじに
報告しても
ノーリアクションにつき
電気の無駄遣いに節電



brw25.jpg

03-07



brw65.jpg

Fiveleafsclover3+

著 ゴトチヒ

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
